

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



トラオレ氏（右端）と3団体の代表の方々。皆さん、エネルギーです。

日本の支援者の皆さんへ

私たちの国ブルキナファソでは、人口の85%が農業に従事しています。しかし技術や設備の不足に加え、降雨に頼った穀物生産ため、いつでも飢饉の起こる危険性があります。私たち「ブルキナファソ飢餓対策連盟」は、こうした状況の改善を目指し、2003年に結成されました。現在、加盟しているのはNGOや一般企業を合わせ24団体ですが、それぞれの団体の傘下には多くの農民組合や住民組織が集っています。

2011年、私たちは「緑のサヘル」を通じて日本の飢餓対策連盟「ゼロハンガーネットワークジャパン」からの支援を受けることが出来ました。この支援は3つの団体の活動を支える貴重な資金となり、その結果、村々に住む100以上の家族、2,000人近くが、乾季に野菜を作れるようになりました。また、この活動によって整備された畑や農具は、雨季の作物栽培をも効率的なものにするでしょう。

私たちは今、飢餓に立ち向かう力を得ました。術を見出しました。日本の多くの支援者の皆さん、本当にありがとうございました。

ブルキナファソ飢餓対策連盟 代表 シモン トラオレ



現地の小学校からお見舞いのメッセージ

新聞やテレビを通じて、日本の町々が破壊され、瓦礫の原となっている光景を見ました。私たちは、あまりに多くの方々が傷つき、そして亡くなり、またかけがえのない貴重な品々が失われたことに呆然とし、悲しみに暮れています。私たちは、哀悼の意を表さずにはいられません。関係者一同、このかつてない自然災害によって、悲しみに沈んでいらっしゃる多くのご家族に対し、心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。

コングシ市立バンゴ小学校 校長 サウドゴ・ロミュアル

2010年度小学校緑化支援運動 成績発表会



1 位になったカルゴ小学校の皆さん。

2007 年以来、バム県の小学校を対象に、校庭緑化の支援活動が続けています。4 年目になる 2010 年度は、初参加 2 校を含む 19 校が取り組みました。

昨年 7 月に、各小学校へバケツやジョウロ等の道具と 30 本の苗木を配布しました。教員、父母、子供達により植林が行なわれ、水遣りや、家畜の食害防止、除草などの世話が続けられました。

世話を続けて 1 年、今年の 7 月に、成績発表会を開催しました。事前に、植えられた苗木の成長の具合や、参加者の意欲等について、現地の環境局や教育局の職員と共に調査を行ない、各校の取り組みを総合的に評価しました。2010 年度は、カルゴ小学校が 1 位になりました。成績発表会でみんなの笑顔は、順位に関係なくとても誇らしげでした。



カルゴ小学校の校庭の様子。

ブルキナファソの治安が回復しました

ブルキナファソでは、4 月以来、学生のデモや、待遇に不満を募らせていた兵士による威嚇射撃等、治安上の混乱が続いていました。このような事態を鑑み、日本政府は 4 月下旬に「渡航延期」と「一時退避」を発令しました。しかし、ブルキナファソ政府の迅速な対応が功を奏し、事態は収束に向かいました。日本政府による措置は 6 月に解除され、8 月から緑のサハルのスタッフも現地に渡航し、業務を行なっています。



JICA 草の根技術協力事業

現在、ブルキナファソは雨季を迎えています。今年は降雨が遅れ、かつ雨量が少ないことから、発芽しても枯れてしまいます。事業を行なっているコングシ地域では、種まきを3回もやり直しています。また、成長も遅く、踝の高さまでしか大きくなっていません。



石堤の効果で膝くらいに成長しています。

ロルガ村とタンギエマ村では、雨水を地中にしみ込ませやすくする石堤（ディグット）と堆肥を入れたザイのおかげで、良好な成長ぶりを見せています。石運びやザイの穴掘りには大変な労力がかかりますが、青々と広がる栽培地を見る住民の顔は明るいです。

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパン協力活動



ブアヤバは、雨季栽培に取り掛かっています。

世界の食料問題に取り組むために、日本国内の連携を促すことを目的にした「ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパン」が、5月に設立されました。同じような組織は、世界27カ国で設立されており、ブルキナファソにも ACF-Burkina（ブルキナファソ飢餓対策連盟）というネットワークがあります。

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパンは、ACF-Burkina に参加している3つの団体

（ブアヤバ、ペングゥエンデ、テールターバ）が取り組む野菜栽培のプロジェクトに協力しています。

2月以来、3団体では、栽培地の整備が進められたほか、トマトやタマネギの栽培を行ないました。雨季を迎えた現在は、穀物のほかオクラや落花生の栽培に向け、準備作業が進められています。



収穫を喜ぶテールターバのメンバー。

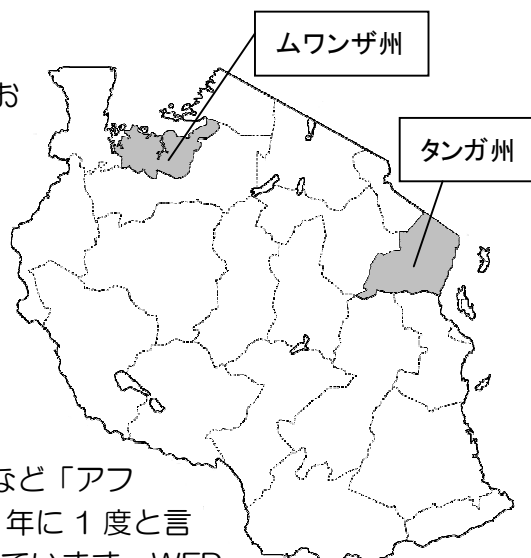
タンザニアから



タンザニア北東部における植林プロジェクト形成調査

2006 年より始まった「難民キャンプ周辺における荒廃地の森林保全・復旧事業」は、5 年間の活動を経て 2011 年 3 月末にて終了しましたが、今回、新たなプロジェクトの形成調査を実施することになりました。

調査はムワンザ州とタンガ州で行ない、当該地における自然環境、社会構成、生活実態等について聞き取り調査や情報収集をしながら、植林活動の可能性を探ります。また、調査にあたっては、3 月までの事業で現地協力団体だった REDESO（社会開発支援）の協力を得る予定です。



東アフリカを襲った大干ばつ

現在、ソマリア・エチオピア・ケニア・ウガンダなど「アフリカの角」と呼ばれるアフリカの北東地域では、60 年に 1 度と言われる大干ばつが発生し、深刻な食糧不足が起こっています。WFP（国連世界食糧計画）の発表によると、およそ 1,400 万人が、飢餓の危険に晒されています。

タンザニアでは、今回の大干ばつによる影響は受けていません。しかし政府は、近年稀にみる不安定な降雨量を鑑み、国内で食料価格の高騰や食糧不足が起こることを恐れ、隣国に対する農作物（特にトウモロコシ）の輸出制限を発表しました。この決定について、現金収入の機会が減るとして農家の方々は反対を訴えています。この問題については、新聞などでも大きく取り上げられ、国会で議論が続けられています。

チャドから



チャド東部で、国内避難民の帰還が始まりました！

反政府勢力やスーダンの武装集団による襲撃から逃れるために、生まれ育った村を放棄せざるを得なかった国内避難民の方々の帰還が、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の支援により行なわれました。今回は、ダル・シラ県とアソング県の住民 1,086 名が、トラック 12 台に分乗し、雨季の前に自村へ戻ることが出来ました。

実際には、昨年来、チャド東部の治安状況がやや改善されたため、約 50,000 名の国内避難民が自主的に村に戻り始めていました。しかし、多くの村では、水や医療、教育などの基礎的な設備が不足しています。生活回復の道のりは、まだ遠い状況です。

国内活動



＜ 東京事務局での主な活動一覧 ＞

毎年5月から7月にかけて多くのイベントが開催されますが、今年は延期やキャンセルになりました。緑のサヘルが毎年参加しているアフリカンフェスタも延期になり、11月に開催される予定です。

5月10日(火)	JICA 人材育成研修報告会	報告 (鈴木)
	チャリティ☆ナイト 「フェアトレード」	共催
22日(日)	チャリティ・コンサート	参加
	「幸田浩子&仲道郁代」デュオリサイタル	
6月6日(月)	貧困削減のための森づくり委員会	出席 (岡本)
	(主催：国際緑化推進センター)	
14日(火)	チャリティ☆ナイト	共催
	「東アフリカの主張する布“カンガ”の魅力」	
7月 6日(水)	神奈川県藤沢市私立 湘南学園高等学校	講義 (菅川)
	事務所訪問(2年生6名)	
8日(金)	JICA 人材育成研修発表会	講演 (鈴木)
12日(火)	チャリティ☆ナイト	共催
	「西アフリカ・セネガル留学奮闘報告」	
22日(金)	国際緑化推進センター 20周年座談会	出席 (岡本)

チャリティ・コンサート開催！！

5月22日(日)に、恒例となっているチャリティ・コンサートが、大阪府池田市民文化会館にて開催されました。このコンサートは「(財)いけだ市民文化振興財団」、「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」、「中西クリニック」の主催、「池田市」、「池田市教育委員会」、「池田市公益活動促進協議会」の後援を得て行なわれました。

今回はソプラノ・幸田浩子さんとピアニスト仲道郁代さんのデュオリサイタルでした。幸田さんの表情豊かで、透き通るような声と、仲道さんの優しく時には力強いピアノが調和して、美しい音色が会場に響き渡りました。また、音楽だけではなく、お二人のトークが会場のお客様を楽しませてくれる、とても素晴らしいコンサートでした。

尚、コンサートの収益から100万円が「緑のサヘル」に寄付されました。



ステージから菅川が挨拶しました。

幸田さん、仲道さん、関係者の皆さん、お集まり下さった皆さん、本当にありがとうございました。



「世界食料デー」月間2011プレイベントのご案内

前号でもお知らせしましたが、「緑のサヘル」は、国内や海外で食料問題に取り組んでいる NGO/NPO や法人、国際機関など、8 団体が協力して取り組んでいる「世界食料デー」月間に、2008 年から参加しています。

7 月から 9 月にかけて、参加している各団体によって企画された、国内や国外の食料問題の現状についてお話をするプレイベントが行なわれます。また、世界食料デーである 10 月 16 日には、各地でいろいろとイベントが行なわれる予定になっています。詳しくは、同封のチラシと「世界食料デー」月間のホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

「世界食料デー」月間 2011 <http://www.worldfoodday-japan.net/>

2012年オリジナル・カレンダー製作中

まだまだ暑い盛りの時期にカレンダーのお知らせは季節はずれと思いますが、今年もまた、世界各国で人々の暮らしを取り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人編集長の蔵前仁一氏のご協力のもと、「オリジナル・カレンダー」の製作が着々と進んでいます。

2012 年のカレンダーには、これまでと同じく、西アフリカの人々の生活風景を切り取った写真を使う予定ですが、さりげない生活の中ではっとさせられる鮮やかな色合いに注目しました。女性たちが身にまとう伝統衣装や新鮮な野菜を使った調理風景、給食用に並べられた色とりどりのお弁当箱、などなど。

色合いをお見せできないのが残念ですが、表紙とご案内用チラシの写真を掲載します。もうしばらくの間、想像を膨らませておいて下さい。どうぞ楽しみに！



カレンダー表紙の候補写真



チラシ表面の候補写真

ありがとうございました

＊敬称は略させて頂きました。

【 新規会員のみなさま 】

帯瀬憲五／鈴木俊介

【 継続会員のみなさま 】

小川あい子／岩永孝子／手嶋千恵子／古川フミ子／鈴木寿一／内藤秀誠・真子
須藤さい／佐賀明子／武内進一／北川華子／向後元彦／町千恵子／浅輪重信／山根二郎
亘友子／太田弘子／菊地博子／高松千枝子／菊山ひじり／岡本美智子／中村吉昭
他 匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付を頂きました 】

川村佳子／山田稚佳江／門村浩／大久保久美子／松本さほり／梅田暢子
小川あい子／加藤正博／坪居壽美子／小林伸張／榎本みつ枝／浪川光代／西村豊子
村上和代／野澤眞次／小森淳子／田中ちえ子／武田てるよ／小池昌子／佐貫眞木子
青野茂雄／鈴木潤／土蔵愛子／白井深雪／丹邦子／加藤治郎／宮本政子／赤山美苗
村上康子／太田弘子／免取雅子／大阪信愛女学院 縄田紳子／こじまこどもクリニック
かみひとねとわーく京都 蛭名健仁・加奈子／個別教育フォレスト 安多秀司
アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／（株）ベルモ 福井誠
三井生命保険（株）／（株）ノルコーボレーション企画部 粕谷茜
他 匿名をご希望の方 2名

【 ハガキ・切手などを頂きました 】

湘南学園高等学校 2 学年／松本さほり／宮根恭子
他 匿名をご希望の方 3名

上記は 2011 年 5 月 1 日から 2011 年 7 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2011 年 8 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

（株）サティスファクトリー／（特活）環境アリーナ研究機構／（株）グリムス
（財）毎日新聞東京社会事業団／（独）国際協力機構（JICA）／（公財）イオン環境財団
緑の募金（管理団体：（社）国土緑化推進機構）／（特活）ハンガー・フリー・ワールド
（財）農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／（特活）国際協力 NGO センター
アフロ・フレンチレストラン 神楽坂トライブス／（財）国際緑化推進センター
（社）日本経済団体連合会／国際連合食糧農業機関（FAO）／igreen（管理団体：seap）



画像を提供しました

- （社）国際農林業協働協会（JAICAF）
季刊誌「世界の農林水産」
- 杉並区立消費者センター
杉並区内小学校用家庭科副読本「くらしと消費」
- （株）日テレ アックスオン
日本テレビ「買い物大好き！女神の市場（マルシェ）」7月8日放送

おしらせ

東日本大震災 支援活動まとめて募金

「緑のサヘル」も参加しているNGOのネットワーク、「(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)」には、96団体が正会員として加盟しています。このうち、国内外の緊急災害支援に高い専門性と実績を有する34団体が、現在被災地で救援活動を行っています。

JANICでは、東日本大震災で被災された方々を支援するため、「東日本大震災 支援活動まとめて募金」を開設しています。こちらへのご寄付は、被災地で活動を行っている32※団体に均等に振り分けられ、被災地のニーズに応じた迅速な人道支援に役立てられます。皆さまのご協力をお願い致します。

「東日本大震災 支援活動まとめて募金」の詳細情報は以下のURLからご覧になれます。
<http://www.janic.org/bokin/matomete/matomete14.php>
 (※2011年8月23日現在)

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動 |
| 2・・・ブルキナファソから1 | 6・・・事務局より |
| 3・・・ブルキナファソから2 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・タンザニア・チャドから | 8・・・お知らせ |

< 編集部より >

●生活の中で少しでも震災支援につながればと思い、節電に努めました。夏は暑いという感覚を思い出せたような気がします。(岡本) ●ブルキナファソに来て3週間。多く人からお見舞いの言葉をかけられ、思わず涙する日々です。

(菅川) ●今年も暑い夏でしたが、なんとか節電生活を続けられました。(町) ●緑のカーテンにゴーヤが実り、食卓を彩っています。(鈴木) ●今年は雨が少ないですが、最近やっと雨季らしくなって来ました。(木藤)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。
00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 北陸 中部 南東北	信越 中部 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol. 47

編集 菅川拓也 岡本敏樹 木藤絢乃 町慶彦 鈴木香織 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤三ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041